

DRONE FUND が、 次世代三次元位置測位サービスの提供に挑む MetCom 株式会社への追加出資を実行

DRONE FUND(本社:東京都港区、代表:千葉 功太郎、大前 創希)は、MetCom 株式会社(本社:東京都港区、代表取締役:近義起、以下:MetCom)へ、3 号ファンド(正式名称:DRONE FUND 3号投資事業有限責任組合)からの追加出資を実行しました。



【今回の投資について】

MetCom は、次世代の 3D 測位、航法、時刻(PNT)サービスを提供することを目指すスタートアップです。

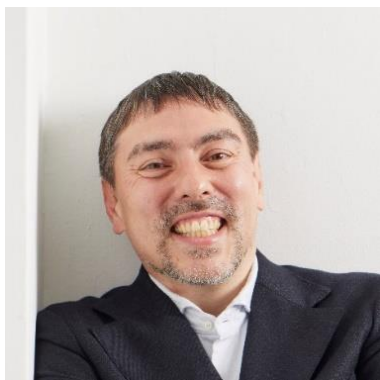
現在、位置情報サービスなどの標準として普及している測位技術は GPS を含む GNSS(グローバルナビゲーション衛星システム)ですが、衛星からの時刻信号を受信して位置測位をする GNSS は、衛星からの信号を屋内・地下で受信することが困難であることから、もっぱら屋外での利用が一般的となっています。また、GNSS は地上ではきわめて微弱な電波を扱うため、妨害や干渉に弱く、この技術をベースにしたシステムは脆弱性が危惧されています。

MetCom の次世代 3DPNT サービスは、地上基地局ベースによるシステムであるため信号強度が強く、建物の中や地下街でも三次元位置測位を行う事ができる技術を有しており、これまで屋外でしか実現できなかった位置情報サービスに革新をもたらします。また、近年世界的に問題となっている GNSS の脆弱性がもたらす社会課題に対しても、MetCom の地上局ベースのアプローチは有効な解決策になります。

初回投資以降 MetCom 事業の伴走をさせていただき、垂直測位サービス「Pinnacle」のサービス展開状況、国立研究開発法人宇宙航空研究開発機構(JAXA)との共同事業の提携発表、電波測位サービス実現のための制度環境が整ってきたことなど事業進捗が着実なことから追加出資をさせていただきました。

MetCom の事業拡大とともに次世代の 3D 測位、航法、時刻(PNT)サービスによってドローンやエアモビリティが安全に空を飛び回る世界の実現が加速することを期待します。

<DRONE FUND 共同代表 大前創希 コメント>



DRONE FUND は、「ドローン・エアモビリティ前提社会」の実現に向けて、セキュアで屋内でもつながる三次元測位技術は極めて重要な技術と位置付けております。特に近年は GNSS に対するジャミング等の問題も頻発しており空の安全性確保のため GNSS を補完するインフラ構築が急務です。こういった環境下で MetCom が実現を目指す 3D PNT インフラはその全てについて解決が可能なインフラであり、事業も着実に進んでいることから追加出資をさせていただくこととなりました。彼らのサービスが、レベル 4 飛行(有人地帯での目視外飛行)の社会実装を目指す業界の安全性確保に寄与するものと確信しております。

■MetCom 概要

MetCom 株式会社は、次世代の 3D 測位、航法、時刻(PNT)サービスを提供します。地上波方式により、衛星測位システム(GPS/GNSS)の弱点を克服し、高精度、高信頼、高障害耐性の時刻情報と 3D 位置情報サービスを提供します。衛星信号が届かない屋内・地下を含む都市全域をカバーする信頼性・可用性の高い社会インフラを構築・運用し、安全で便利な社会を実現します。

■DRONE FUND 概要

DRONE FUND は、「ドローン・エアモビリティ前提社会」を目指し、ドローン・エアモビリティ関連のスタートアップ投資に特化したベンチャーキャピタルです。1号・2号・3号ファンドを通じて、国内外の合計 89 社に投資を実行してきました。3号ファンドでは、ドローン・エアモビリティおよびその社会実装に資するスタートアップへの投資活動を幅広く展開してまいります。

- ・ 正式名称: DRONE FUND 3号投資事業有限責任組合
- ・ 運営会社: DRONE FUND 株式会社
- ・ 代表パートナー: 千葉 功太郎、大前 創希
- ・ 所在地: 東京都港区虎ノ門五丁目9番1号
- ・ 設立: 2020年5月
- ・ 事業内容: ドローン・エアモビリティ関連スタートアップへの投資及び協業支援
- ・ ウェブサイト: <http://dronefund.vc>

【本件に関する報道関係者様からのお問い合わせ先】

- ・ DRONE FUND 広報担当: pr@dronefund.vc